

黒い洪水 (Black flood)

ライヒさん

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

第一次世界大戦がドイツ有利で勝利した世界、ドイツ帝国はフランスに賠償金取らず、領土だけ取り、史実のフランスみたいな多額の賠償金を取らなかつたが、その代わりフランスの精神は崩壊した。経済が無事なのにフランス国民は経済を壊滅状態にさせる大規模なストライキを行い、経済が崩壊、経済崩壊で国家社会主義者が革命を起こし、「フランス国家社会主義共和国」を建国、この世界初の社会主義政府は世界にヒビをいれた。イタリアでもベニート・ムッソリーニによる国家社会主義「ファシスト党」が政権を握り、ロシア帝国でもヨシフ・スターリンがロシアに国家社会主義政党「ロシア国家社会主義党」が成立した。この世界に平和は訪れるだろうか？

この小説はh o i 4みたいに進むためあんまり人物は出ません。

(Red floodの黒いバージョン)

(ご都合主義もありますのでお願いします)

コメントは自由に評価してください。

もしこの小説に質問があればネタバレしない程度に回答、ヒントを差し上げるのでどうぞコメントをお願いします。

目次

この世界の歴史

この世界の歴史1 | 1

この世界の歴史2 | 4

この世界の歴史3 | 8

1931年

1931年1月～2月 崩壊する大英帝国 | 11

1931年3月～4月 ロシアの究極な全体主義的共産主義者「ア

ルクセイ・ガスチョフ」 | 16

この世界の日本の歴史1 | 20

この世界のドイツの歴史 | 27

この世界のフランス（北フランス王国）の歴史 | 30

この世界のオスマンの歴史 | 33

この世界のフランス（フランス国家社会主義共和国）歴史 | 36

1931年5月～6月 オーストリア・ハンガリー二重帝国の爆散 | 40

日本で生まれた超絶現実主義・マキャヴェリズム政党 | 48

この世界の日本の歴史2 | 52

この世界の政党（1931年当時）（主要国と他の国）（なんでドイ

ツと日本が突然技術力が上がったのか？） | 56

昭和の大改革の内容 | 61

この世界のオランダとベルギーの歴史 | 65

中央アジア社会主義共和国連邦の実態と建国してから7年の歴史 | 69

1931年7月～8月 アメリカでクーデター発生、そして第二次 | 69

アメリカ内戦が発生。

この世界の歴史 この世界の歴史1

世界はぶつ飛んでしまいました、国家社会主義により、世界は半分に別れました。繁栄した国家と崩壊した国家に、原因は第一次世界大戦に起きました。1914年ドイツ帝国政府はロシア帝国を破壊してからフランスに移ろうとドイツ軍に提案、これを承諾し、フランス国境に最低限の軍を置いて、ドイツ帝国軍の全てをロシア帝国に大侵攻した。そして1915年ロシア帝国はペトログラードとモスクワが陥落、これによりロシア帝国は講和した。ロシア帝国はポーランド、バルト三国、ベラルーシ、ウクライナをドイツ帝国に割譲、ロシア帝国は大戦から離脱した。1916年なかなかドイツ帝国が攻めてこないため、フランス政府はベルギー政府に軍事通行権を求めたが、ベルギー政府は「我々ベルギーは永世中立国であり現在の戦争に関与しない！」と宣言したため、フランス政府は、ベルギーに侵攻、これにイギリス政府はベルギー側に立つて、フランス共和国に宣戦布告した。そしてドイツ帝国はベルギーを支援するため、フランス国境地域に大規模な空爆を行い、ドイツ帝国軍が大侵攻した。これにより1917年にイギリス・ベルギー・ドイツ連合軍がパリに入城、パリが陥落した。だがフランス政府は首都をマルセイユに移し、徹底抗戦したが、1918年にイタリア王国が単独講和したため、イタリア領内から通ってきたドイツ帝国軍によりマルセイユは1919年に陥落、フランスが講話を受諾したため5年続いた戦争は中央同盟とイギリス・ベルギー・日本が勝利した。

戦勝国

ドイツ オーストリア・ハンガリー オスマン ブルガリア イギリス ベルギー 日本

敗戦国

ロシア フランス イタリア セルビア モンテネグロ

1920年にロンドンのバッキンガム宮殿にて講和がなされた、まずドイツ帝国はフランスに賠償金は要求しなかったが、その代わり領土の多くをぶんどった。(フランスからアフリカ領土を全部もらう)

そしてドイツ帝国はフランスに二度とエルザス・ロートリンゲンの領有権を永久にできないようにするよう、ロンドンの講和会議でもフランスに対し「フランスは二度とエルザス・ロートリンゲン領有権を破棄してもらおう」と話し、フランスは賠償金を取られないためにフランスはアルザス・ロレーヌの領有権を破棄を決定、これにより二度とフランスはドイツ帝国に対して領土の返還要求ができなくなった。

イギリスはフランスに対して賠償金を要求、イギリスは100億ポンドの賠償金を要求した。日本はフランス領インドシナを要求、オーストリア・ハンガリーは賠償金100億ポンドを要求、他の国も賠償金を要求し、賠償金の合計は1000億ポンドとなった。ロシアは日本から北樺太を取られ、賠償金として各国から合計500億ポンドを要求された。イタリアはリビアをオスマン帝国に返還して、賠償金合計100億ポンドを要求された。セルビアはオーストリア・ハンガリーに併合、モンテネグロも併合された。これによりバッキンガム条約が成立して、その後の世界はドイツとイギリスの2大大国が覇権を握った。(バッキンガム体制)

そして1921年にロシアでレーニンが暗殺、これによりロシアでは、共産主義者が勢力拡大できず、その代わり国家社会主義者が勢力を拡大、ヨシフ・スターリンも鞍替えしてロシアの国家社会主義政党に指導者として君臨、トロツキーは共産主義政党の指導者に君臨した。

1922年 フランスで大規模なストライキが起き、回復していた経済が崩壊した。そしてそれにつけこんで、革命が発生、フランス政

府はコルシカ島に移転、フランス本土に「フランス国家社会主義共和国」が成立した。これは危ないと思ったドイツ帝国政府は、フランス領内に侵攻し、パリを占拠、フランス国家社会主義共和国は、南フランスに追い出された。ドイツは、北フランスに「北フランス王国」を建国、オルレアン家のジャン・ピエール・クレマン・マリイが、北フランス初代国王「ジャン一世」になった。

南フランスには追い出された「フランス国家社会主義共和国」が新首都をモンペリエとし、北フランス王国と敵対した。

1923年 日本が中国に対して海南島の購入を打診、中国は経済が不安定だったために了承した。(この世界の日本は大韓帝国を併合していない。そもそも話し伊藤博文が暗殺から生きていたため、併合の話はなくなり、史実で使われた朝鮮に対するお金は東北に使われている)その後日本が海南島に大規模な軍港を作った。

ロシア帝国で初の総選挙が行われ、議会の過半数を「ロシア国家社会主義党」が取り、政権与党へ、そしてヨシフ・スターリンは軍を使い、クーデターを決行、与党以外の政党を解散させ、独裁体制に移行した。だがレフ・トロツキー率いるロシア共産党が革命を宣言、スターリンはペトログラードを追い出された。これによりロシアは内戦に突入した。

この世界の歴史2

1923年に内戦に突入したロシアは3つの勢力があった。

ソビエト・ロシア共和国

国家元首 レフ・トロツキー人民委員長

首都 ペトログラード↓(変更) レニングラード

政体 社会主義

ロシア国家社会主義共和国

国家元首 ヨシフ・スターリン総統

首都 モスクワ

政体 国家社会主義

ロシア臨時政府

国家元首 アレクサンドル・ケレンスキー大統領

首都 ヴォルゴグラード

政体 社会民主主義

ロシア内戦に日本が介入して、ウラジオストクにアレクサンドル・ヴァシーリエヴィチ・コルチャークを元首とする、「シベリア共和国」を建国、シベリア共和国はヨーロッパ以外のロシア領を領土とした。

ロシア領の中央アジアで社会主義国家が成立、「中央アジア社会主義共和国連邦」が建国された。中央アジア社会主義共和国政府はロシア内戦に不介入を宣言した。

コーカサス地方のアルメニア、ジョージア(当時はグルジア)、アゼルバイジャンに「コーカサス連邦共和国」が建国された。コーカサス政府も内戦に不介入を宣言した。

ロマノフ皇帝一家はシベリアに亡命、シベリア共和国は国名を「ロシア第二帝国」に変更し、ニコライ二世は再即位、ロシア第二帝国は大日本帝国の影響に置かれた。

1924年 原敬と伊藤博文が憲法改正して軍部の暴走を阻止し、内務省をブチ壊し、解体させた。これにより財務省、国土交通省、総務省、文部科学省、警察庁、などと組織改革が行われた。(原敬は暗殺されなかった。伊藤博文が暗殺者をフルボッコにしたから)

1925年 アメリカ経済が崩壊、アメリカ恐慌が発生した。このアメリカ恐慌によりアメリカと関係の深かった南アメリカ諸国は経済が軒並み崩壊、国家社会主義者がどんどん増加していった。

日本で大正天皇が1926年に退位することを宣言、新しい天皇に皇太子裕仁親王が即位することが決定した。

ポーランドで初代国王に日本から秩父宮雍仁親王を迎え、ポーランド王国初代国王ヤスヒト一世が誕生した。これにより大日本帝国に、初の海外に皇室の血筋が外国の国王になった。

エストニア、ラトビア、リトアニアが「バルト連合王国」として統一、初代国王にホーエンツォレルン家のアウグスト・ヴィルヘルム・ハインリヒ・ギュンター・ヴィクトル、全部略して、アウグスト・ヴィルヘルム・フォン・プロイセンがバルト連合王国初代国王になった。

ベラルーシでもホーエンツォレルン家からアーダルベルト・フェルデナント・ベレンガル・ヴィクトル全部略して、アーダルベルト・フォン・プロイセンがベラルーシ王国初代国王になった。

ウクライナでもホーエンツォレルン家からオスカー・カール・グスタフ・アドルフ全部略してオスカー・フォン・プロイセンがウクライ

ナ王国初代国王になった。

1926年 大正天皇が退位、上皇になり、皇太子裕仁親王が昭和天皇として即位した。

中国で国家社会主義者と共産主義者が蜂起。中国は大混乱になり、そこに新しい市場を手に入れたアメリカ合衆国が軍事介入をして、中国に侵攻、それを見たドイツとイギリス、日本も介入して、軍隊を中国に出兵した。

南フランスのフランス国家社会主義共和国がフランス亡命政府がいるコルシカ島に侵攻、そこにスペイン王国が介入し、コルシカ島を守るように艦隊を封鎖した。これにより侵攻ができなくなったフランス国家社会主義共和国軍は、スペインに侵攻を決定、これによりフランス・スペイン戦争が発生した。

3年続いたロシア内戦はソビエト・ロシア共和国首都レニングラードが陥落によりロシア国家社会主義共和国が勝利。ロシア臨時政府はケレンスキーが国家社会主義者により暗殺されたため政府は崩壊、そのままロシア国家社会主義共和国が飲み込み。ロシア国家社会主義共和国が内戦に勝ったが、3年続いた内戦により国土は荒廃、経済も崩壊、行政機関もほぼ機能しない。そんな全てか破壊されたロシアでヨシフ・スターリンは国家運営をしていくのだった。

イタリアで国家社会主義者が政権を取り、ベニート・ムッソリーニが統領ドゥーチェになった。だがこれに共産主義者が不満を持ち、ナポリで共産主義者が「イタリア共産連邦」を建国、これにより内戦に突入した。

1927年 前年の中国出兵で中国は崩壊、中国東北地方は日本が取り、アメリカは中国華中地方、ドイツは中国華北地方、イギリスは

中国華南地方と中国の西部地方以外が外国の占領下になった。西部地方には追い出された中国政府は、一緒に追い出された国家社会主義者と共産主義者により崩壊、西部は群雄割拠になっていった。日本は中国東北地方に「満洲共和国」を建国、ドイツは「大清帝国」を再建国、イギリスは「広東共和国」を建国、アメリカは「中華合衆国」を建国した。（香港とマカオは中国政府の崩壊で、租借地から植民地として併合した）

ドイツで、ディーゼルエンジンを効率化、デメリットを限界まで克服した「高度ディーゼルエンジン」が完成。（日本も協力）それと同時に日本と協力して作った階差機関と解析機関が完成し、科学技術はありえないほど加速していった。

この世界の歴史3

1928年 階差機関と解析機関の完成により日本とドイツは他の国と比べて科学技術が天と地ぐらいの差となっていた。(ドイツでは科学技術の発達によりオートマタ(自動人形)ができ、ドイツの工業力にありえないほど加速を生み出した。)(日本では階差機関と解析機関により工場の効率化、高度化ができ、アメリカほどの工業力を持ち始めた。)

フランス・スペイン戦争でスペインが敗戦、フランスに併合された。そしてフランス亡命政府は降伏した。

だがフランス軍部とスペイン軍部が反対し、連合軍を結成、「フランス・スペイン解放軍」ができ、旧スペイン植民地に本部を置いた。

フランス国家社会主義共和国は初代総統にマルセル・デアとジャック・ドリオが争い。結果はマルセル・デア初代総統にそしてジャック・ドリオはスペインに作られた「スペイン国家弁務官区」初代総督になった。

イタリア内戦は泥沼化、イタリア王国(国家社会主義政権)の支援にフランスとロシアが援助した。イタリア共産連邦は味方がいないため、少しずつだが力を弱まっていた。

1929年 中国西部地方に明王朝再興された。明王朝の末裔と自称して、皇帝になったリー・カンスは、中国の統一に興味はなく、国力をつけることから着手した。

アメリカで政府が財政破綻が発生、アメリカは属国の中華合衆国に大量のものと言うものを売り、外貨を稼いだ。だがこれにより中華合衆国の工業力は崩壊して、経済が不安定に、この不安定がアメリカの経済にどんどんヒビを入れていった。

アルゼンチンが崩壊、これを皮切りにチリ、パラグアイ、ウルグア

イ、ボリビア、ベネズエラ、コロンビアとどんどん国家が崩壊し、南アメリカの半分以上の国が崩壊（無政府状態になった。）南アメリカは大混乱になっていった。

ブラジルでは日本とドイツとの関係を重視していたため、経済は崩壊しなかったが、周辺諸国が不安定化したため、ブラジル政府は軍拡を開始した。

大韓帝国は併合されず、生き残ったが経済が大不況になり、大韓帝国内では、「大日本帝国と統合し皇帝を引きゾリ墮ろせ」と大韓帝国皇帝に対しての不満が増大し、大韓帝国軍部も不満を持っていた。国民と軍部の不満はクーデターを引き起こし、大韓帝国皇帝は処刑され、軍部による軍事政権が発足。

その後大韓帝国軍事政府は日本と統一を要望し、日本政府と大韓軍事政府の話し合いの結果、「1930年をもって大韓帝国は大日本帝国に併合される」と決定。これを皮切りに日本政府は日本人化を進めるために朝鮮語を破壊して、英語を覚えさせ、満洲共和国におくり、空いた土地から日本人を入植させる。これを繰り返して朝鮮語は壊滅されて、朝鮮人は英語が共通の言語となった。

1930年 20年遅い「日韓併合」がされ、日本人が多く入植してきた。そして朝鮮人は満洲で新しい生活をしていった。（朝鮮人は日本政府から補助金をもらい、その金で満洲に大規模な農園を作り、中華合衆国と大清帝国そしてロシア第二帝国に輸出していった。）

満洲での社会階級、上層部に満洲人とロシア人、中層部に朝鮮から入植してきた朝鮮人たち、下層部に中国人と、日本は政治に介入しなかったが、経済は握っているため、満洲共和国は経済的属国である。

ドイツでアドルフ・ヒトラー率いる「帝国民主党」が政権獲得、ヒトラー宰相は演説で「我がドイツは科学技術が発達し、アメリカを超える科学大国となった。盟友の日本も科学技術を上げ工業力を我が

ドイツをも超える存在となった。我々ドイツは日本と永遠なる同盟を組み、科学技術を一緒に開発して、時には一緒に戦争で防衛する。日本には助け合いの精神がある。私はこれを見習い、そしてドイツ人も近隣の同盟を助けるべきである。」と宣言して、ドイツは近隣国に積極的に介入、政治的にどんだん味方を作っていた。

レフ・トロツキーがメキシコに亡命して、メキシコで共産主義革命を起こし、メキシコ政府が崩壊、「メキシコ・コミューン連邦」が成立、メキシコ連邦は革命を広げるために中南米諸国に宣戦布告、これがあとに「中央アメリカ統一戦争」が始まった。

ロシア国家社会主義共和国初代総統ヨシフ・スターリンは経済回復に努めるが、ヨシフ・スターリンはミハイル・トゥハチエフスキーにより暗殺されて、2代総統にミハイル・トゥハチエフスキーが就任、トゥハチエフスキー総統閣下は「ロシアの再統一を目指す！」と宣言、コーカサス連邦共和国に侵攻していき、ロシア第二帝国とは紛争を繰り返した。

イタリア王国とイタリア共産連邦は早期講和して、イタリア半島をイタリア王国で、シチリア島をイタリア共産連邦と、イタリア共産連邦はイタリア半島に追い出されたのだった。

イギリスのロンドン株式市場が大暴落、これにより世界恐慌が発生した。ドイツは少ししか被害が出ず、日本に至っては日本各地に大規模公共事業をやったため、一切の被害はなかった。イギリス政府は金を稼ぐためマラヤを日本に売却。何かを売って外貨を稼ぐだが、これに植民地に資本がある。資本家たちが怒り、オズワルド・モズレー率いるイギリス・ファシスト党が国家社会主義革命を宣言、フィリップ・スノーデン率いるイギリス国民労働戦線も共産主義革命を宣言、イギリスは混沌と化していた。

1931年

1931年1月～2月 崩壊する大英帝国

イギリス エディンバラ 1931年1月11日

目線 臨時英国首相 ウィンストン・チャーチル

「あのクソツタレの赤と黒共が！」ドン！

「首相、ロンドンは共産主義者が、マンチェスターは国家社会主義者によつて取られました。そして一部軍人の中にも反逆者がいます。どうしますか？」

「何を言ってる情報長官、国王陛下に反逆する軍人は処刑しろ！」

「はい、わかりました。」そう言われた情報長官は執務室か

ら出ていった。

「首相」

「なんだ陸軍大臣、悪い知らせか？」

「はい、グラスゴーにいた国王陛下が暗殺されました。」

「何を言ってるんだ？」

「ですから国王陛下が暗殺されたと言ったんです。」

「誰か殺した？」

「それが」

「なんだ？聞こえないぞ」

「あなたには死んでももらいますよ首相」

「どういうことだ？、まさかお前は…」

「そうですねよモズレー派です。」パン！え？、これは私の血か？どうい
うことだ、これでは私は英国の舵取りができなくなるじゃないか。そ
こでウィンストン・チャーチルの意識は終わった。

イギリス エディンバラ 1931年1月11日

目線 英国陸軍大臣

「こんな呆気なく死ぬとは思わなかったな」私はそう思いながら、懐に

しまっていた写真を取り出す、

「モズレー、お前は国王陛下を使って国を統一しようとしたがこれで国王陛下も死んで、国は終わった。地獄で待つてるぞ。モズレー」そして自分の銃を使って自殺した。パン！

イギリス グラスゴー 1931年1月12日

目線 エドワード・アルバート・クリスチャン・ジョージ・アンドルー・パトリック・デイヴィッド（エドワード8世）

「父上が暗殺された？」 私は海軍大臣に聞いた。

「はい、国王陛下は暗殺されました。」

「じゃあ次の国王は私か？」

「はい、なのですぐに即位してもらいます。」

「わかった、早く準備するよ。」

「わかりました私も仕事もありますので出ていきます。」

1931年1月15日 エドワード王太子殿下が「エドワード8世」として国王に即位した。アルバート・フレデリック・アーサー・ジョージ（ジョージ6世）はカナダへ亡命した。

1931年1月18日 ロンドンが陥落、フィリップ・スノーデン率いるイギリス国民労働戦線は北アイルランドに亡命、その後そのままアイルランド自由国を支配、アイルランド島に、「イギリス連合」を建国、初代人民委員長にフィリップ・スノーデンが就任した。

1931年1月24日 ロンドンでオズワルド・モズレーが演説、「新しいイギリスを創る」と宣言して、ロンドンのバッキンガム宮殿で、「ブリテン帝国」を建国、初代総統にオズワルド・モズレーが就任した。

1931年1月29日 エディンバラが陥落してイギリス政府が崩壊、カナダに政府を移した、国王エドワード8世は亡命に失敗、ロ

ンドンで処刑された。

1931年2月1日 イギリス領インド帝国で反乱が発生、インド帝国副王兼総督エドワード・フレデリック・リンドリー・ウッド・ハリファックス伯爵は、インドの独立運動家マハトマ・ガンディーに「なんとか反乱を止められないか？」と質問、これにガンディーは「もう止められない」と発言、これに総督は反乱鎮圧を植民地軍に要請、植民地軍は鎮圧を開始したが、一部の植民地軍が反乱軍に寝返る事態も発生、これをヤバいと考えた植民地軍は英国面を發揮し、イスラム教信者を取り込んで、イスラム教組織に武器を提供、（提供と言う名の販売）これにより植民地政府に味方するのは、

植民地政府に味方する人たち

白人と植民地政府から利権を貰えると約束されて味方になったイスラム教組織とイスラム教信者たち

反乱軍に味方する人たち

ヒンドゥー教を中心としたインド人

ドサクサに紛れて独立した人たち

藩王国のほとんどが独立（一部の藩王国は連合を結成）

1931年2月5日 カナダに亡命した、亡命政府は日本に香港と広東共和国の管理を売却、日本は香港にいるイギリスの香港総督府から香港の行政を受け取り、広東共和国は中国合衆国に売却、これにアメリカは新しい市場を手に入れたと喜んだ。

1931年2月6日 ジョージ王太子殿下が「ジョージ6世」として国王に即位した。国王ジョージ6世は「なんとしてでも大英帝国の植民地を維持しろ、維持できなかつたらいい値で売れ！」と命令して、亡命政府はそれを実行、植民地の損と得を見直して、いらぬ植民地

は自治共和国として独立させ、利益が出る植民地は直轄地とした。

1931年2月8日 カナダの植民地政府と合体したイギリスの亡命政府は、軍拡を開始、本土の奪還を目指した。

1931年2月10日 インドのコルカタで国家社会主義者のインド人「スバス・チャンドラ・ボース」は、「我々はこちらにインド国家社会主義共和国連邦の建国を宣言する！」と宣言して、反乱軍は国家社会主義軍になっていった。だが一部の旧反乱軍の人々が反対して、ハイデラバードで「ハイデラバード連合国」が成立、インドは3つに分裂した。

インド植民地政府（イギリス領インド帝国）（1931年当時）

国家元首 ジョージ6世皇帝

副王兼総督 エドワード・フレデリック・リンドリ・ウッド・ハリファックス伯爵

リファックス伯爵

首都 ニューデリー

政体 民主主義（イギリスの植民地）

インド国家社会主義共和国連邦

国家元首 スバス・チャンドラ・ボース国民大議長

首都 カルカタ（コルカタ）

政体 国家社会主義

ハイデラバード連合国

国家元首 アーサフ・ジャール7世国王（ニザーム藩王国君主）

首都 ハイデラバード（インド）

政体 立憲君主制

1931年2月20日 10日続いた戦闘は、3つの勢力が休戦したことにより内戦は停止、戦争は休戦したが、国境地域では、3つの

軍隊が紛争を繰り返した。

1931年2月22日 現副王兼総督のハリファックス伯爵は、亡命政府から「インド統一がなされるまで総督の任期は無期限延長である。」と亡命政府から地獄かもしれない命令をされた。(要するに伯爵が死ぬまでに統一しないと何処からの力で家族諸共抹殺されるため)

1931年2月25日 南アフリカ連邦とアフリカのイギリス領を合併、「アフリカ連邦」が成立した。

1931年3月〜4月 ロシアの究極な全体主義的
共産主義者「アルクセイ・ガスチョフ」

1931年3月2日 ロシア国家社会主義共和国の2代総統ミハ
イル・トウハチエフスキーが、アルクセイ・ガスチョフ率いる究極な
全体主義的共産主義政党「プロレトクリト」による軍事クーデターで
失脚、トウハチエフスキー総統は新総統ガスチョフによって肅清、3
代総統にアルクセイ・ガスチョフが就任した。(途中で行われたカフ
カース連邦共和国との戦争は停戦した)

1931年3月5日 新総統ガスチョフ閣下は国名を「単一国」(ワ
ンステート)に変更、そして総統閣下は演説で「人間は機械的人間「ホ
モ・メタラム」になることで、真なる平等をもたらし、国民は民族限
らず、ワンステートの国民であり、この国に民族と言うものは一切必
要無くなります。」「共産主義国家は我らの身体であり、我らは身体を
捨て去るのです。」「我らは自由意志を捨て去り、機械の如く動き、我
らオペレーター(指導者)が真なるユートピア国家を建設するのです
!」と長々と総統改め、オペレーターアルクセイ・ガスチョフ閣下は
演説し、ガスチョフ閣下はユートピア(デイストピア)国家の建設を
目指した。

1931年3月7日 ロシア国家社会主義共和国改め「単一国」は
再度カフカース連邦共和国とフィンランド共和国に侵攻、単一国は
勢力拡大を目指した。

1931年3月10日 単一国は公用語をロシア語から人工言語
「エスペラント語」へ変更、言語の統一を行った。

1931年3月30日 カフカース連邦共和国が降伏、フィンラン
ド共和国は講和を行い、領土を一部、単一国に渡した。

1931年4月1日 ペルシヤ帝国（史実では1935年にイラン帝国に改称）に単一国が侵攻、これに亡命していたガージャール朝の最後の皇帝の弟がペルシヤのブーシェフルで「我々は皇帝の位を取り戻す！」と宣言して、ブーシェフルで「ペルシヤ第二帝国」建国、後ガージャール朝を興した。

それに続いてペルシヤ帝国の社会主義者が社会主義革命を決行、「イラン社会主義共和国」を建国、ペルシヤのチャーバハールを首都とした。

1931年4月5日 単一国がペルシヤ帝国（パフラヴィー朝）首都テヘランを陥落させ、現皇帝であるレザー・シャー・パフラヴィーを処刑、12歳のモハンマド・レザー・パフラヴィーが2代皇帝に即位した。

1931年4月20日 カスピ海沿岸部を占領した、単一国はペルシヤ帝国と講和を成立させ、カスピ海沿岸部を獲得した。

皇帝パフラヴィー2世は怒ったが首相が何故講和しないと行けないかを話し、これに皇帝は納得した。

ペルシヤの3つの勢力

ペルシヤ帝国（パフラヴィー朝）

国家元首 モハンマド・レザー・パフラヴィー

首都 テヘラン↓首都失陥で移転↓イスファハーン

政体 立憲君主制

ペルシヤ第二帝国（後ガージャール朝）

国家元首 モハマド・ハッサン・ミルザ

首都 ブーシェフル

政体 立憲君主制

イラン社会主義共和国

国家元首 ラヴレンチー・パーヴロヴィチ・ベリヤ

首都 チャーバハール

政体 社会主義

1931年4月22日 この単一国の侵攻に危機感を持ったのは昔、瀕死の病人と呼ばれ、最盛期の面影がなかったが、大日本帝国がドイツなどからの借金を肩代わりし、その日本からの投資により好景気へと突入したオスマン帝国である。

オスマン帝国は好景気で得た資金で急速な軍の近代化を行い、宰相に就任していたムスタファ・ケマルはオスマン帝国を強固な国にしようとした。

1931年4月25日 ブリテン帝国はドイツ帝国のハノーファー王家、エルンスト・アウグスト・フォン・ハノーファー略して「エルンスト・アウグスト4世」を初代皇帝にしようとした、これにより無理やりエルンスト・アウグスト4世はブリテン帝国初代皇帝に即位、「後ハノーヴァー朝」が成立、ドイツ帝国第3代皇帝ヴィルヘルム2世は無理やり皇帝にされたエルンスト・アウグスト4世の返還を要求、拒絶されるとドイツ帝国とブリテン帝国の関係は最悪な外交関係になる。(イギリス亡命政府とは仲良くしている)(そりや孫を奪われたら怒るわ)(エルンスト・アウグストの母がヴィルヘルム2世の娘ヴィクトリア・ルイーゼ・フォン・プロイセンなのでヴィルヘルム2世にとっては、エルンスト・アウグストは孫であるので絶対に取り戻したい！)

1931年4月27日 イギリス連合初代人民委員長フィリップ・スノーデンはサンディカリズム型民主主義を作り、プロレタリア独裁を戦時以外禁止した。イギリス連合は人民陸軍と人民海軍を作り、イギリス連合を守る軍隊を拡大させた。

1931年4月29日 イギリス亡命政府はマラヤの利権を全て日本に売却、日本は領土を広げ、イギリス亡命政府は多くの大金を得て、その資金をカナダの開発に使った。

(日本はアジアで覇権を握ることができた)
(シンガポールの利権は保持)

1931年4月30日 ジョージ6世はデビッド・ロイド・ジョージを首相に指名、デビッド・ロイド・ジョージが首相に就任した。デビッド・ロイド・ジョージは就任演説で「大英帝国を再建する！」と宣言、軍拡を行い、経済はドイツと日本からの経済援助で経済を回復させた。

この世界の日本の歴史1

この世界の日本は史実の日本よりマシな世界で、この世界でマトモな国である（軍隊がキチガイであることは変わりないが）

1909年10月26日のハルビン駅で安重根が銃を伊藤博文に撃とうとしたが、伊藤博文が自前で持っていた銃で安重根を射殺、伊藤博文は史実では暗殺されたが、この世界では安重根が伊藤博文に返り討ちされて死んでしまった。

このおかげ（？）で伊藤博文は日本政府に対して「大韓帝国は併合しない！」と言うと、これに日本政府は「わかったから、大韓帝国は併合しない！」と伊藤博文にいい、史実では朝鮮に使われたお金は東北に使われていった。（これによって東北は史実より良い暮らしと工業化が進んだ）

1910年8月29日は大韓帝国が併合された年だが、今回は伊藤博文のおかげで併合されず、大韓帝国は20年延長して存続した。（これにより大韓帝国の国民は大韓帝国政府の腐敗にうんざりし、満洲や日本に移住していった。）（日本に移住した韓国人は韓国文化と韓国語（瓦解した言語だが）を捨て去り、日本文化と日本語を受容、日本人としての帰化を強めた。）（満洲に移住した韓国人は資金を大韓帝国から持ち込んで、土地を買い、農園を建設、漢民族を多く雇った。）（大韓帝国は多くの国民が海外に移住したことにより経済はどんどん悪くなっていった。）

1912年7月30日に明治天皇が崩御、これにより皇太子嘉仁親王が大正天皇として即位のした。

1914年 第一次世界大戦が発生、日本はイギリスから助けを求められるまで戦争による特需で経済力と工業力を上げる。

1915年 この年では対華21カ条要求が史実では行われるのだが、第一次世界大戦の戦争特需で日本が凄いことになってた為、大陸の関心が薄れ、国民の間では「大陸に進出する必要性はないんじゃないのか？」と呼ばれており、その影響で日本政府は対華21カ条要求を要求しなかった。

1916年 イギリスから助けを求められて、第一次世界大戦に参加、フランス領インドシナに侵攻した。

1919年 戦争が終結。

1920年 ロンドンのバッキンガム宮殿で講和条約が話し合われて、日本は賠償金とフランス領インドシナを獲得した。
(あと戦争の特需で経済力と工業力が史実より上がった)

1923年 日本が中国から海南島を購入、日本は海南島を大規模な軍港とした。

日本はシベリアに出兵、ウラジオストクを首都する、「シベリア共和国」を建国させたが、ロマノフ皇帝一家がシベリア共和国に亡命したため、日本はシベリア共和国に「ロマノフ王朝を君主とする国家を再建国せよ！」と命令して、シベリア共和国は国名を「ロシア第二帝国」へ変更した。(勿論のことこの国は大日本帝国の影響の置かれた国家)

関東大震災が起きたが伊藤博文と原敬のリーダーシップと東条英機の大胆な行動で、史実より死者数は大幅に減った。

1924年 原敬と伊藤博文が憲法を改正させて、軍部の暴走を阻止(具体的には軍隊の統帥権は天皇陛下だが内閣総理大臣に統帥権を

委任させる事、軍部大臣現役武官制を廃止して文官しかできないようにしたり（それをすると軍事に詳しくない人が大臣になる可能性がある為、陸軍省と海軍省を合併して「国防省」を成立させて国防大臣の下に陸軍長官と海軍長官、空軍長官（空軍は陸海軍から集めて新設）を置いた。）

あと軍部の監視と天皇陛下の護りとして、「近衛隊」を組織、この組織だけは内閣総理大臣の上に天皇陛下をトップとした。）（色々あるがそれはここでは言わない）

あと保険といった福祉も政府は制度を作った（本当この制度はなかったんだが革新派の議員と穏健派の社会主義者が「福祉をやれば国民は安心して仕事ができる！」と発言して、それに原敬と伊藤博文は、「それを行うと国民はどう安心できるのか？」と発言して、話し合いが行われた。そして結果は作ることが決定した。（具体的には1922年に成立していた健康保険法の改正によってできる国民健康保険法と国民年金法の成立、そして生活保護法である。もつとあるんだがあとは現在の日本の福祉の法律とほぼそっくりなのでここでは言わない。現在の日本では国民健康保険税があるんだがこの世界の日本では全部を政府が負担。その分ちよつとだが税金が上がる。国民年金に関しては国民からちよつとだが税金を上げる。生活保護制度に関しては外国人は生活保護をできない）

（この頃に子供を増やすとどんどん税金が下がる法律が成立、人口が大爆発した）

経済の発展も行うため、財閥や企業を相互に監視し合う組織、「日本経済連合」ができる。これができると何が起きるかと言うと、不正を行うと連帯責任で日本経済連合の加盟企業が日本政府から大規模な不正調査を行う為で、（不正調査の間は経済活動ができなくなるから）これにより多くの企業は他の企業が不正をしてないか監視し合うことになる。あと加盟に関しては全企業の加盟が義務である。

環境に關しても公害を防ぐ為に「環境省」が設立した。(これに關しては汚染された水や汚い空気を出していたから関東大震災が起きたんだと神様が怒っていると噂が流れていった為国民からの不安をどうにかする為、設立が決定した)

労働に關しても法律が制定された。労働基準法、労働関係調整法、労働組合法の労働三法が成立。

選挙に關しても改革を行い「男女平等」を行い、男女普通選挙法が成立、18歳以上の男女を対象とした。

政治に關しても改革を行い、25歳以上の人が衆議院議員になるものを改革、年齢を18歳に下げさせた。

内務省と大蔵省を解体(統合と解体を行った)

あとこの憲法と法律の改正後、原敬内閣は総辞職、後任に山本権兵衛が内閣総理大臣に就任し、史実では起こらなかった第三次山本内閣が成立した。(この改革は「大正の大改革」と呼ばれた)

第三次山本権兵衛内閣

内閣総理大臣 山本権兵衛 元海軍軍人(元老になることが確定)

財務大臣・副総理 高橋是清

外務大臣・環境大臣 原敬 (元老になることが確定)

総務大臣 若槻禮次郎

国土交通大臣 鈴木貫太郎

文部科学大臣 斎藤実

経済産業大臣・農林水産大臣 岸信介

厚生労働大臣 濱口雄幸

法務大臣 鳩山一郎
国防大臣 東郷 平八郎 元海軍軍人 元帥（元老になることが確定）

国家公安大臣 伊藤博文 現元老

大日本帝国国防陸軍に関して

ドイツ帝国陸軍との交流などで機械化が進む。

（ドイツの兵器のライセンスをしたりなど）

乃木希典が明治天皇から現在の昭和天皇を支えてくれと言ったため、乃木希典は御年76歳（1924年当時）乃木希典は今も帝国国防陸軍軍人として、国防陸軍の過激派の撲滅に奮闘した。（これにより陸軍の暴走を軽減させる）

大日本帝国国防海軍に関して

史実では計画されて中止された八八艦隊の建艦計画は史実と違いながら、作ることが決定した。だが内容は史実とは全然違って、大艦巨砲主義みたいに戦艦マシマシじゃなくて、空母を6隻、戦艦2隻の、航空主兵論を基軸とした計画がされて、史実の大艦巨砲主義みたいに極端なことは起きなかった。（国防省ができて海軍の影響力が減ったことと、ドイツ帝国海軍とイギリス王立海軍の交流で戦艦が時代遅れになると確信した海軍軍人が航空主兵論を押しすることが要因）
（何故計画が決定して、建艦するかと言うと、史実より金がウハウハあったから）

大日本帝国国防空軍に関して

陸軍から石原莞爾、海軍から今年卒業したばかりの源田実がやってきた。その後帝国国防空軍には陸軍と海軍の革新派を中心に行ってきたのだった。（何故か帝国国防空軍は陸軍と海軍の喧嘩を仲裁する

存在になることになる)

1931年の日本の国力と諸々の説明

帝都 東京

国家元首 昭和天皇

首相 尾崎行雄 (政権交代で山本内閣は総辞職)

政体 権威民主主義 (立憲君主制)

経済状態 好景気

国民感情 天皇陛下万歳 (／・ω・)／

民族 大和民族、アイヌ民族 (その後アイヌ民族は同化で失くなる、後の民族も)、琉球民族、朝鮮民族、香港民族、ユダヤ系の人々 (世界各地のユダヤ人が日本に集合)

言語 日本語 (大日本帝国内) 英語 (大日本帝国の日本人と海外からの外国人、日本国籍を持つ帰化した日本人の皆が言語の違いでわからないの防ぐ共通言語)

宗教 神道、仏教、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教など

(宗教は個人の自由) (押し付けは禁止) ↑やったら弾圧

人口 1億1000万人 (急激な人口爆発)

人口の内訳 (日本と台湾などが人口爆発している)

日本人9000万人、アイヌ人と台湾人、海南人 (海南島の中国の人々) 香港人、琉球人、白人 (合わせて) 1000万人 (日本人としての教育を行っているのではほとんどは同化される)

ユダヤ人500万人 (全員日本国籍取得) (大日本帝国政府がユダヤ人に樺太の移住を支援すると、宣言すると多くのユダヤ人が流れ込んできて一時大変な事態にまでなったが、政府の努力で混乱を治めた) (ユダヤ人も日本人としての教育を行っているのではほとんどは同化される)

朝鮮人 500万人 (多くの朝鮮人は満洲に移住途中のため現在進行形で人口が減っている)

常備軍 100万人 (現在軍隊の近代化を行っている)

限界動員数 300万人

この世界のドイツの歴史

1914年 第一次世界大戦でドイツはオーストリア・ハンガリー二重帝国の味方で参戦。

1915年 ドイツ帝国がロシア帝国を破壊する。

1916年 フランスの破壊準備中にフランスが我慢できずにベルギーへ侵攻、何故かイギリスとベルギー、そして日本が味方になったが、フランスを破壊するのは変わらないので、ベルギー経由でフランスに侵攻した。

1917年 パリを陥落させ、講和をしようとするが、フランスが諦めないため、戦争を継続した。

1918年 イタリア王国が単独講和、イタリア経由でフランスへ侵攻。

1919年 マルセイユが陥落させ、フランス政府で軍事クーデターが起き、フランス臨時軍事政府は降伏した。

1920年 ロンドンのバッキンガム宮殿で講和条約が行われてドイツ帝国はエルザス・ロートリンゲンをフランスから領有権の禁止と旧フランスアフリカ植民地を獲得

1921年 ドイツのスパイによりレーニンが暗殺、そしてそれと同時に赤狩りを開始、共産主義者を粛清していった。

1922年 フランスが全体主義独裁国家になってしまったので国防的に危ないと思ったドイツ帝国政府は、帝国軍に北フランス進駐を指示、命令を受けたドイツ帝国軍が北フランスに進駐し、パリに才

ルレアン家のジャン・ピエール・クレマン・マリーを初代国王とする「北フランス王国」が建国、(独立国だが経済的植民地なので事実上の属国)

初代宰相にフィリップ・ペタンが就任した。(長年続く長期政権ペタン内閣の成立である。)(病気で引退する1950年まで続いた)(28年続くフランスの中で最も長い政権)

1923年 ロシアが吹っ飛び、内戦となったロシアでは、ドイツはロシア臨時政府に旧式の武器を売っていった。(これによりロシア内戦は泥沼化)

1924年 オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、北フランスに多くの資金を投資し、経済的植民地化を進めた。

1925年 皇帝ヴィルヘルム2世の息子達に3つの王国の国王に即位させる。

バルト連合王国初代国王 アウグスト・ヴィルヘルム・フォン・プロイセン(四男)

ベラルーシ王国初代国王 アーダルベルト・フォン・プロイセン(三男)

ウクライナ王国初代国王 オскар・フォン・プロイセン(五男)
(3つの王国はゲルマン化、ドイツ化を進めていった)

1926年 中国に出兵。

1927年 中国に大清帝国を再建国、市場を手に入れる。

ドイツでディーゼルエンジンを効率化、高度ディーゼルエンジンが

完成、それと同時に日本と協力して作った階差機関と解析機関が完成し、科学技術はありえないほど加速していった。

1928年 階差機関と解析機関によりオートマタが完成、どんどん科学技術が上がった。(工業力がありえないほど加速していった)

1930年 アドルフ・ヒトラー率いる帝国民主党が与党に当選、ヒトラー政権下でどんどん経済を上げていった。

1931年のドイツの国力と諸々の説明

帝都 ベルリン

国家元首 ヴィルヘルム2世

宰相 アドルフ・ヒトラー

政体 権威民主主義(立憲君主制)

経済状態 好景気

国民感情 H u r r a d e r K a i s e r (／・ω・)／

民族 ゲルマン系ドイツ民族、ボヘミア民族、ポーランド民族(後は少数民族)

言語 ドイツ語(ドイツ国内)英語(ドイツ国内の外国人と移民、世界の共通言語)

宗教 キリスト教 (カトリックとプロテスタント)

人口 9000万人

常備軍 50万人

限界動員数 500万人

この世界のフランス（北フランス王国）の歴史

1914年 フランスが第一次世界大戦に参戦。

1915年 ロシア帝国が吹っ飛ぶ。

1916年 我慢できずに隣国のベルギーに侵攻する。

1917年 首都パリが陥落、マルセイユに首都を移転。

1918年 イタリアが裏切る。

1919年 臨時首都マルセイユが陥落

1920年 ロンドンのバッキンガム宮殿で行われた講和条約でドイツからアルザス・ロレーヌの領有ができなくなつて、フランス植民地が全部取られる。賠償金は払える額なのでだいじょうぶ。

1922年 ストライキが起きて経済死ぬ、経済死んで国家社会主義革命が起きる。ドイツ帝国軍が北フランスに進駐。

北フランス王国が建国、初代国王にオルレアン家のジャン・ピエール・クレマン・マリーが「ジャン一世」として即位。

初代宰相にフィリップ・ペタンが就任。長年続く長期政権ペタン政権の成立である。（28年続くフランスの中で最も長い政権）

1923年 日本企業とドイツ企業の進出で北フランス企業の多くが買収、合併されていき、北フランスの80%が海外企業、20%が国営企業と、経済的植民地とかしていた。

1924年 政権与党のフランス王国民主党と野党第一党のフランス社会民主党が連立を組む。(事実上の挙国一致内閣)

(フランス社会民主党の正式名称は「フランス・トラヴァイユール党」)
1925年 ドイツとイギリスから旧式兵器を購入、この旧式の兵器はフランス国家社会主義共和国国内に居る反体制派にレンドリースした。

1926年 北フランス王国のドイツ化が進む(好景気で人口の増えたドイツでは、ドイツの友好国やドイツ系国家に移民する人たちが増加した)(1926年当時の北フランス王国のフランス系とドイツ系の値は、フランスが80%、ドイツが20%と2割がドイツからの移民で、1930年代に入ると3割に増加した)

1927年 北フランス王国の新しい国名を北フランス王国初代国王ジャン一世とドイツ帝国第3代皇帝ヴィルヘルム二世、そして当時宰相のフランツ・フォン・パーペンが会談。

北フランス王国がドイツ化したら国名を「ブルグント王国」に国名を変えることを決定、国名の変える条件としてドイツ系が人口の半分以上を占めたら変えるとした。

1928年 北フランス王国政府はフランス・スペイン解放軍にレンドリースを行い(主に旧式の兵器をあげる)、フランス国家社会主義共和国の弱体化を狙った。(フランス国家社会主義共和国の抵抗勢力「フランス・スペイン解放軍」は2つの組織が連合してできた組織で、フランス・スペイン解放軍の下に「自由フランス軍」「スペイン臨時軍政府」で、フランスの代表は「シャルル・ド・ゴール」、スペインの代表は「フランシスコ・フランコ・バアモンデ」と有名人物が指導者になっており、連合の代表はフランス王国のブルボン家の分家、スペイン・ブルボン家でスペイン解放後「フランス・スペイン連合王国」国王になることが決まっている「アルフォンソ13世」がフランス・ス

ペイン解放軍の代表を行っている)

(フランス・スペイン連合軍)

フランス・スペイン解放軍代表 アルフォンソ13世

自由フランス軍代表 シヤルル・ド・ゴール

スペイン臨時軍政府代表 フランシスコ・フランコ・バアモンデ

1929年 首都パリを改名、募集で出た候補で「ル・ソレイユ」を北フランス王国の新しい首都名とした。(アントナン・アルトー率いる「フランス・アバンギャルド党」(フランス加速党)がこの新しい首都名「ル・ソレイユ」を出した)

1930年 ドイツ化が進む北フランス王国は公式言語にフランス語とともにドイツ語を新しい公式言語とした。(どんどん進む北フランス王国のドイツ化)

1931年の北フランス王国の国力と諸々の説明

王都 ル・ソレイユ

国家元首 ジヤン一世

宰相 フィリップ・ペタン

政体 権威民主主義(立憲君主制)

経済状態 好景気

国民感情 Vive France

民族 フランス民族(ラテン系) ドイツ民族(ゲルマン系)

言語 フランス語、ドイツ語、英語(世界共通語)

宗教 キリスト教(カトリックとプロテスタント)

人口 3000万人

人口別 フランス人(2100万人) ドイツ人(900万人)

常備軍 100万人

限界動員数 300万人

この世界のオスマンの歴史

1911年 リビアをイタリアに取られる。

1914年 第一次世界大戦が発生 大戦にオスマン帝国は参戦

1915年 ロシア帝国をドイツ帝国が破壊、これによりオスマン帝国は負担が軽減。

1916年 フランスがベルギーに宣戦布告、これにイギリスが参戦して、エジプト方面の負担が軽減した。

1917年 エジプトを通過して、リビアへ侵攻。

1918年 イタリアが単独講和、オスマン帝国はリビアを取り戻す。

1920年 バツキングム条約が成立、オスマン帝国は賠償金とリビアの統治権の正当性ができた。

1921年 オスマン帝国の英雄ムスタファ・ケマルは、第一次世界大戦での活躍により、オスマン帝国第36代皇帝メフメト6世から宰相になるように勅令が出て、ムスタファ・ケマルは宰相になることを決意、戦争に勝っても崩壊しつつあるオスマン帝国を建て直すを決める。(その後ムスタファ・ケマルは病気で引退する1936年まで宰相の座に君臨し、亡くなる1946年までオスマン帝国の政治に多大なる影響力を持った。

1922年 日本にオスマン帝国の青年将校と希望した兵士が日本の大学と陸軍大学校へ留学していった。(1924年に陸軍大学校は海軍大学校と合併して「帝国国防大学」へ変わった)

その間にムスタファ・ケマルは憲法改正を行い、立憲民主制を加速させ、皇帝はオスマン帝国の国家元首にして象徴となった。

1923年 外国から借金を日本が肩代わり、日本は中東で石油資源の独占を勝ち取り、新しい市場開拓で、関東大震災で起きた経済の低迷を吹き飛ばすぐらい利益を勝ち取った。

日本が現地住民に仕事を与えて、利益を配ったことにより（多くは福祉と教育へ使われた）親日が大幅に増え、これが後に同盟締結までに影響して、親日国の中で最もズツ友と呼ばれた。（日本がやる事に説明が無かろうが賛成を貫き通すぐらいオスマン帝国は日本が大好きとなった）

ムスタファ・ケマルも日本が好きになり、日本の首脳と会談したり、天皇陛下に会ったりと、暇があるときは日本に遊びに行く親戚のおじさんと化していた。

1924年 日本で憲法改正が行われて、新しい政治を行っているとき、オスマン帝国は日本に習って、どんどん資金を公共事業と民間企業に支援を行い、日系企業にはどんどん市場拡大をさせるため支援を惜しまなかった。これにより経済状況は好景気に突入して、好景気から出た資金をどんどん公共事業と民間企業、日系企業に送っていた。（これのおかげでオスマン帝国国民の生活が豊かになり、帝国への不満は大幅に減って、親日も増えて、オスマン帝国はあらゆるところからどんどん変わっていった）

1925年 アメリカ経済が吹っ飛んだ影響でアメリカ系企業がオスマン帝国から撤退、空いたところに日系企業が進出していった。（ドイツ系企業も進出）

1926年 メフメト6世が亡くなって、アブデュルメジト2世が第37代皇帝に即位した。アブデュルメジト2世は政治に興味が無く、政治に関しては全てムスタファ・ケマル宰相に任せて、アブデュルメジト2世は宰相に「カリフとして仕事するから皇帝の仕事は少なくて」といい、宰相の仕事はどんどん増えてしまった。これにムスタファ・ケマルは仕事の効率化を行い、他の大臣の仕事と官僚の仕事を増やし、宰相の仕事を減らすことに成功した。

1927年 オスマン帝国国内のトルコ人増加政策（他民族同化政策）は成功をし、オスマン帝国人口の80%がトルコ人となり、多数民族として確固たる地位を持った。（他の少数民族はトルコ語を学び、トルコ人になろうと頑張った）

1930年 近代化を進め、オスマン帝国は瀕死の病人から復活した地域大国へ再進化した。

オスマン帝国（オスマン・トルコ帝国）の国力と諸々の説明

帝都 イスタンプール

国家元首 アブデュルメジト2世

宰相 ムスタファ・ケマル

政体 権威民主主義（立憲君主制）

経済状態 好景気

国民感情 Yağasın?mparator(・ω・)／

民族 トルコ民族 他民族（同化中）

言語 トルコ語（オスマン帝国国内）英語（世界共通言語）

宗教 イスラム教（国教）（政治介入禁止）

人口 3000万人（急激な人口爆発）

常備軍 50万人

限界動員数 250万人

この世界のフランス（フランス国家社会主義共和国） 歴史

1914年 フランスが第一次世界大戦に参戦。

1915年 ロシア帝国が吹っ飛ぶ。

1916年 我慢できずに隣国のベルギーに侵攻する。

1917年 首都パリが陥落、マルセイユに首都を移転。

1918年 イタリアが裏切る。

1919年 臨時首都マルセイユが陥落

1920年 ロンドンのバッキンガム宮殿で行われた講和条約でドイツからアルザス・ロレーヌの領有ができなくなつて、フランス植民地が全部取られる。賠償金は払える額なのでだいじょうぶ。

1922年 ストライキが起きて経済死ぬ、経済死んで国家社会主義革命が起きる。ドイツ帝国軍が北フランスに進駐。

国家社会主義革命のリーダー「アレクシス・カレル」はマルセル・デアとジャック・ドリオを率いてパリに革命を起こした。

だがドイツ帝国軍が進駐してきたため、これに国家社会主義革命勢力はパリから追い出されて、臨時首都をモンペリエに置いた。

北フランスに王国ができ、南フランスには「フランス国家社会主義共和国」が成立、臨時総統にアレクシス・カレルが就任、マルセル・デアは臨時副総統、ジャック・ドリオは臨時国防大臣となった。

1923年 アレクシス・カレルが反体制派によつて暗殺、これによりマルセル・デアが臨時総統になり、ジャック・ドリオは副総統となった。(反体制派は全員処刑)

1924年 軍拡中

1925年 コルシカ島にいる残存亡命フランス政府とスペイン侵攻を計画

1926年 フランス・スペイン戦争が開戦、序盤ピレネー山脈に立て籠もつたスペインが優勢だったが、フランスは火力によるゴリ押しにより突破、1928年にスペイン王国政府は本土を消失し降伏。(亡命フランス政府はコルシカ島に上陸されて壊滅)

1927年 バルセロナとマドリードが陥落、首都を移転したが

1928年 スペイン王国政府はスペイン本土を消失、降伏した。だがスペインの軍部は反対し、亡命フランス軍と合流、スペイン植民地に「フランス・スペイン解放軍」ができた。

マルセル・デアが正式に初代総統になり、ジャック・ドリオは「スペイン国家弁務官区」初代総督となった。

(初代総督ジャック・ドリオはまずフランス人化政策を行い、スペイン人を虐殺、空いた土地を無料でフランス人に配った。)

(初代総統マルセル・デアは軍事拡張を推し進め、フランス人の増加を促進、虐殺は起こさず、反体制派や反社会的勢力の処刑を毎回行つた。)

1929年 反体制派による反乱が発生、発生地のマルセイユは軍

隊により包囲されて大砲、戦艦、戦略爆撃と火力によるゴリ押しを行い虐殺、マルセイユは廃墟と化していた。

1930年 反体制派組織「マルセイユ」が蜂起、この蜂起でマルセル・デアが暗殺、暗殺後反体制派は壊滅し、2代大統領にジャック・ドリオが就任、フランス大統領兼スペイン国家弁務官総督を兼ねる「大統領」が誕生した。

フランス国家社会主義共和国軍の軍人

(モーリス・ガムラン、シャルル・ドウレストランなどカイザーライヒのフランスコミューンの軍人がそのままフランス国家社会主義共和国に軍人としているらしい)

フランスの軍事組織

フランス国家社会主義共和国には政権与党の軍事組織「カレル隊」とフランス国家社会主義共和国の軍隊「共和国軍」の二種類の軍隊がある。カレル軍は暗殺されたカレル臨時大統領にちなんで名前をつけ、現在は「武装カレル隊」と言うカレル隊より重武装の私兵軍隊を作り、最終的には共和国軍は解体し、武装カレル隊に併合することが計画されている。

共和国軍はフランス国家社会主義共和国の軍隊であり、参謀総長は「モーリス・ガムラン」参謀副総長は「シャルル・ドウレストラン」がついている(現在の共和国軍は解体の危機に瀕しており共和国政府に対しての不満がどんどん高まっている)(この国の組織のマトモな部類の共和国軍が解体されたらヤバいことになるのはこれを見てる読者もわかるだろう)

1931年のフランス国家社会主義共和国の国力と諸々の説明

首都 モンペリエ

国家元首 ジャック・ドリオ大統領（首相を兼ねる）

政体 国家社会主義

経済状態 奴隷経済

国民感情 国民統制

民族 フランス民族、スペイン民族は奴隷

言語 フランス語

宗教 禁止

人口 2500万人（奴隷を入れて3000万人）

常備軍 120万人

限界動員数 400万人

スペイン国家弁務官区の情報

総督府 マドリード

総督 ジャック・ドリオ総督

人口 2000万人〜3000万人

1931年5月～6月 オーストリア・ハンガリー二重帝国の爆散

1931年5月4日 長年、多民族国家で形成されたオーストリア・ハンガリー二重帝国は、皇帝カール1世が共産主義者によって暗殺されたことにより崩壊した。

1931年5月5日 これにドイツ帝国政府は大ドイツ主義の實現を決め、ドイツ帝国軍をボヘミアとオーストリアといったゲルマン系民族がいる地域に進駐、突然の進駐でオーストリア政府は崩壊した。

ドイツ帝国軍はボヘミア王国、オーストリア帝国をぶん取り、ガリツィア・ロドメリア王国をガリツィア・ロドメリア共和国として独立させて、ドイツの勢力に組み込んだ。

1931年5月6日 突然独立国になってしまったハンガリー王国はカール1世の息子オットー・フォン・ハプスブルクを皇帝とする国家「ハンガリー帝国」を建国、早速ハンガリー帝国はダルマティア王国とクロアチア・スラヴオニア王国、ボスニア・ヘルツェゴビナへ進駐して併合した。

1931年5月8日 旧オーストリア・ハンガリー二重帝国軍軍政下のセルビア・モンテネグロ軍政府は突然の二重帝国の崩壊で混乱したが、軍政府の元帥ヴィルヘルム・フォン・エスターライヒはセルビア・モンテネグロに「パナト王国」を建国、ゲルマン化を進めた。（パナトと言うのは旧セルビア領の上の方にあるハンガリー帝国領の領土で、ドイツ騎士団国の拠点の一つ）

1931年5月10日 エルンスト・アウグスト4世を皇帝にしたのはいいが、ドイツとの関係が最悪な外交関係になってしまったた

め、そこにドイツから圧力も加わり、ついにブリテン帝国は折れて、エルンスト・アウグスト皇帝を退位させ、エルンスト・アウグストはドイツに帰国、皇帝が空位になったブリテン帝国はオズワルド・モズレー総統閣下が摂政の位に就き、国の運営をした。(これによりブリテン帝国は4年間皇帝がいない時期に突入した)(1935年に新しい皇帝が即位される)

1931年5月15日 ヴィルヘルム・フォン・エスターライヒはバルカン半島に居るドイツ人にパナトの入植を応援し、ドイツ本国からの移民を受け入れた。(この結果セルビア人とドイツ人の混血が進み、ドイツ系パナト人が作られていった)

(民族浄化を行い、新しい民族の形成をエスターライヒは行った)(スラブ人の男性を傭兵とし外に送り、スラブ人の女性とドイツ人入植者を結婚させる、スラブ人の子供にはパナト人として教育を行う)

1931年5月19日 イギリス連合はブリテン帝国と対立し、何度もウエールズに上陸、現地のウエールズ人民解放戦線とブリテン帝
国陸軍での熾烈な戦いが繰り広げられた。

1931年5月22日 突如としてイタリア共産連邦はアルバニアに侵攻、突然の侵攻でアルバニア軍は対処しようとしたが、アルバニアの共産主義者も蜂起をし、大混乱、アルバニア王国の国王と王室は処刑され、アルバニアはイタリア共産連邦によって併合された。

1931年5月25日 ギリシヤでも共産主義者による共産主義革命が発生し、ギリシヤ王室はデンマークへ亡命、イタリア共産連邦も介入し、ギリシヤ王国は崩壊、ギリシヤ臨時政府ができた。(その後イタリア共産連邦とギリシヤ臨時政府は「地中海共産連邦」に合併することになり、地中海共産連邦政府は「地中海に共産主義を広める」と宣言した)

1931年5月28日 混乱が続いていたモンゴルで、ロマン・フョードロヴィチ・フォン・ウンゲルン＝シユテルンベルク率いる「モンゴル帝国」がモンゴルを統一、モンゴル帝国皇帝に即位した。

モンゴル帝国皇帝ロマンは隣国の自称明王朝の末裔を名乗る国「明帝国」に宣戦布告。（そちらのモンゴル帝国も自称だったはずでは？）拡大を模索した。（蒙明戦争）

1931年5月30日 自称明に支配されてしまったチベットで蜂起が起き、「チベット」が再独立。モンゴル帝国は独立を歓迎し、モンゴル帝国はウイグル地方に電撃的に侵攻していった。

1931年6月10日 自称明は自称モンゴル帝国によって電撃的な侵攻により二週間程度で降伏、リー・カンスは処刑され、モンゴル帝国はウイグルを併合した。

1931年6月12日 モンゴル帝国の隣国「中央アジア社会主義共和国連邦」はモンゴル帝国の光景を見て、「我々も拡大し国力を上げよう！」と決意、隣国のアフガニスタンに侵攻した。（アフガニスタン侵攻）

1931年6月15日 イラン社会主義共和国国家元首ラヴレンチー・パーヴロヴィチ・ベリヤはイスラム過激派により暗殺、イラン社会主義共和国は崩壊した。（崩壊したイランは復活したペルシャ第二帝国により併合、ペルシャ帝国とペルシャ第二帝国のにらみ合いが続いた）

1931年6月19日 ポルトガルで革命が発生、革命勢力は首都リスボンにて「ポルトガルコミュニオン」の建国を宣言、ポルトガルの資本家はドイツか日本へ亡命し、ポルトガルは労働者の国となった。（地中海共産連邦と「インターナショナル」を結成、同盟を締結した。）

1931年6月24日 ポルトガルの革命はブルガリアそしてルーマニアでは軍事独裁体制の成立に繋がった。

ブルガリアはボリス3世が軍隊を使い軍事独裁化

ルーマニアでは軍隊がクーデターを起こし、カロル2世を退位させ、ミハイ1世を国王に再度即位させた。(カロル2世が即位から1年で退位)(イオン・アントネスクがクーデターを起こし、史実より9年早いアントネスク政権の発足)

この世界はどんどん混沌と狂喜に満ちた世界へ行こうとしていた、そしてこの世界をもっと混沌にする出来事が起きる。

日本のラジオ放送

臨時ニュースお届けします。臨時ニュースをお届けします。
たった今から衝撃な出来事を報告します。

「アメリカでクーデターが起きました」

日本で生まれた超絶現実主義・マキャヴェリズム政党

第三次山本権兵衛内閣が成立した翌年の1926年ある、政党ができた。政党の名前は「日本新生民主党」、現実主義、マキャヴェリズム、立憲民主制、汚職不正絶対肅清、国民管理社会、愛国主義と色々詰り込んだ政党が成立した。

日本新生民主党は国民に政治に興味を持たせる為に日本新生民主党員自ら国民と話し、不満を聞き、それを帝国議会で提出する、これを何回も行い国民からの支持を集めていった。

政党名 日本新生民主党

代表（党首）尾崎行雄

副代表（副党首）松岡洋右

成立年 1926年1月5日

本部所在地 東京都（大正の大改革で東京都が成立）

衆議院議席数 600中400

貴族院議席数（新生民主党派）300中200（貴族議員は政党に入るのを禁止されているため、同じ考えの貴族議員を集めて、味方にする）（実力主義になったため貴族が300を超えても、増やすことなく、実力がある貴族が貴族院議員となった）（何故600と300かと言うと大正の大改革で600まで、300までと決まったことと、国民の中から政治家をやりたいけど色々周辺が強すぎて入れない立候補者の為に100議席をできたばかりの政党（結党から5年以上はだめ）、無所属の立候補者（当選した後の政党入りは次の選挙は小選挙区制、比例代表制になるだけ）に配ったから）この制度を「新人候

補者応援選挙制」と呼ばれた。(無所属が2回続けると強制的に政党に入れさせる)(中選挙区制は廃止)

政治的思想・立場 中道右派、現実主義、マキャヴェリズム、立憲民主制、汚職不正絶対粛清、国民管理社会、愛国主義、現実的経済主義、社会民主主義、ナシヨナリズム

機関紙 新民新聞

政党交付金 3億5000万円(円の価値が上がり戦後日本並みの価値になっている)

スローガン 国民の為の政治

党歌 海行かば(準国歌)

1929年総選挙で立憲政友党に大勝し、尾崎行雄内閣が成立、社会主義的な政策も出しながら、資本主義的な政策も出し、対立関係の社会主義と資本主義のいいところ取りを行い、国民から多くの支持を受けた。(イデオロギー反復横跳び)

この尾崎行雄内閣を支えたのは元老といった最強の政治家と多くの若い政治家、若い官僚によって支えられた。

(汚職政治家と汚職官僚を徹底的に粛清していたため、若い政治家と若い官僚が実力によりどんどん上に目指して出世していったため老害政治家や老害官僚はどんどん粛清されていった)(汚職や不正を防ぐ独立組織(天皇陛下が代表を取る)「国家風紀委員会」が成立した)

日本新生民主党は日本共産党を批判し、政権を取った直後に帝国国防軍を出動させ、逮捕、軒並み即刻処刑された。

そして日本新生民主党政権は憲法の一部の追加を行い、憲法に「国

体変革を行う政党は禁止」と明文化させ、日本共産党を禁止にした。
（社会主義穏健派の政党「日本民主労働党」は国体変革を目標とせず、
「日本を労働者にとっていい国にしよう!」と目標としているため、強
制解党されず、日本で唯一の社会主義政党になる）（日本新生民主党も
社会主義的だが部分的なところが社会主義なだけで、日本新生民主党
は現実主義的社会民主主義を掲げていた）

日本の帝国議会で議席を取ってる政党（カッコは正式には使ってい
ないから）

与党（保守であり革新である） 日本新生民主党（中道右派）

野党（保守派）（日本） 立憲政友党（中道右派）（旧与党）

（保守派）（日本） 立憲民政党（中道）

（保守派）（日本） 立憲養正會（右派）

（保守派）（日本） 国民同盟党（右派）

（革新派） 日本民主労働党（中道左派）

（革新派） 日本革新民主党（中道左派）

（革新派） 日本国民民政党（左派）

（革新派） 日本革新進歩党（左派）

略称 新生民主党↓新民党 立憲政友党↓立政党

立憲民政党↓立民党 立憲養正會↓立養會

国民同盟党↓国同党 民主労働党↓民労党

革新民主党↓革民党 国民民政党↓国民党

革新進歩党↓革進党

議席数 「新民党 衆400、貴200」「立政党 衆50、貴20」

「立民党 衆50、貴20」「民労党 衆70、貴0」「立養會 衆10、

貴30」「国同党 衆0、貴30」「革民党 衆5、貴0」「革進党 衆

5、貴0」「国民党 衆10、貴0」

国民同盟は国家社会主義の浸透と世界情勢が複雑怪奇になった影響で1928年に成立した。(4年早い結党)

この世界の日本の歴史2

1925年 アメリカ経済が吹っ飛び、アメリカ政府は日本政府に對してアメリカ領の太平洋地域とハワイ島の売却を提案、アメリカ国内の反発があったが、それを封じ込み、日本は太平洋地域とハワイ島を合法的に獲得した。

大正天皇が退位を宣言、皇太子裕仁親王の即位が決定した。(1926年に大正天皇は上皇陛下になる。亡くなる1年前に退位を宣言したので、上皇陛下は1936年まで生きる)

皇太子裕仁親王の弟、秩父宮雍仁親王がポーランド王国初代国王「ヤスヒト一世」として即位、ラジオ演説でポーランド語を話し、(この時のポーランド国民は驚いたと言う)国民に寄り添う国王をヤスヒト一世は目指した。

1926年 大正天皇が退位、皇太子裕仁親王が昭和天皇として即位した。(国王として即位した秩父宮雍仁親王より1年遅く即位した)

中国の崩壊によりアメリカ合衆国が軍事介入を開始、それにイギリス、ドイツ、日本が追従し、1927年に、日本は満洲地方に「満洲共和国」を建国した。満洲共和国初代首相に張作霖が就任、張作霖の息子「張学良」は満洲共和国国防軍元帥に父から任命された。

1927年 満洲共和国が建国されて、多くの朝鮮人が移住していった。(民族大移動並に移動して朝鮮半島にいた朝鮮民族はほとんど居なくなった)

満洲共和国の国力と諸々の説明(1931年当時)

首都 奉天

国家元首 張作霖大統領

首相 張作霖

政体 権威民主主義（事実上の独裁体制）

経済状態 好景気

国民感情 満洲民族、ロシア民族、朝鮮民族と漢民族の熾烈な戦い
民族 満洲民族 朝鮮民族（民族大移動並に移動してほとんどの朝鮮民族は満洲に移住した）ロシア民族（極東に移住したロシア人と亡命ロシア人からなる）漢民族（前の説明で話したとおり上に満洲とロシア、中に朝鮮、そして下に漢民族と満洲共和国では圧倒的に社会的地位は断然低い）（日本ではむしろ中国からの移民は禁止）

言語 満洲語（満洲共和国国内）英語（世界共通語）ロシア語やウクライナ語、中国語など

宗教 仏教、ロシア正教会、神道

人口 6000万人

人口の内訳 満洲人3000万人 朝鮮人2000万人 中国人

900万人（現在進行形で増加中）ロシア人とウクライナ人などのスラブ系民族で1000万人

常備軍 30万人

限界動員数 200万人

ポーランド第二王国の国力と諸々の説明（1931年当時）

首都 ワルシャワ

国家元首 ヤスヒト一世（秩父宮雍仁親王）

ポーランドでの名前「ヤスヒト一世・チチノブミヤ」

首相 ユゼフ・クレメンヌ・ピウスツキ

副首相 ヴワディスワフ・エウゲニウシユ・シコルスキ

（ユゼフとヴワディスワフは思想が違う為に対立関係だがヤスヒト一世が「仲良くしろ」と強引な方法で和解させられた。現在の関係は微妙で、仲良くしろて言われて仲良くしてるがあんまり進展はない。だ

が対立から微妙な関係になってるだけ史実よりはマシな方である)

政体 権威民主主義(立憲君主制)

経済状態 好景気

国民感情 国王陛下万歳(／・ω・)／

民族 ポーランド民族、少数民族(ドイツ、ロシアなど)

言語 ポーランド語(国内) 英語(世界共通語)

宗教 カトリック、神道(ヤスヒト一世の影響で)

人口 3000万人(好景気の影響で人口爆発)

常備軍 25万人

限界動員数 100万人

(史実では生まれなかったヤスヒト一世の息子が1930年に誕生、名前は「テルヒト・チチノブミヤ」日本名では「秩父宮照仁」と呼ばれた)(次男も1934年に生まれて名前は「テルヒコ・チチノブミヤ」「秩父宮輝彦」と呼ばれた)

(ヤスヒト一世の病気は早期発見で早期治療したため、史実より50年長く生きた)

1928年 階差機関と解析機関の完成でぶっ飛んだ科学技術、工業力を手に入れ、日本の経済はどんどん好景気を飛び越えて加速的な好景気になった。

1929年 大改革を主張した日本新生民主党の党首「尾崎行雄」が当選、首相になり1930年に大改革をすとした。

1930年 「昭和の大改革」を行い、政治、農林水産、軍事、教育などの改革を行った。(昭和の大改革の内容は後々に出すので見てね！)

内閣総理大臣 尾崎行雄（71歳）
財務大臣・副総理 高橋是清（続投）（75歳）
外務大臣 松岡洋右（49歳）
環境大臣 松田治五郎まつだじごろう（オリジナル）（39歳）
総務大臣 小泉又次郎（64歳）
国土交通大臣 加江田仙次郎かえだせんじろう（オリジナル）（44歳）

文部科学大臣 眞田平郷さなだへんごう（オリジナル）（46歳）
経済産業大臣 青木一男（40歳）
農林水産大臣 平沼騏一郎（62歳）
厚生労働大臣 木戸幸一（40歳）
法務大臣 荒木貞夫（52歳）
国防大臣 小磯國昭（49歳）
国家公安大臣 初鳥忍二郎はつとりになじろう（オリジナル）（34歳）

荒木貞夫と小磯國昭は予備役となり政界に進出
原因 世界情勢が複雑怪奇になってどんどん悪化していたため二人は「政界に進出して日本を守ろう！」と決意、大正の大改革で予備役になり、新しい政党だった日本新生民主党に入党、持ち前の知識と軍人だった頃の経験も活かし、日本新生民主党でメキメキと出世、大臣となった。

この世界の政党（1931年当時）（主要国と他の国）
（なんでドイツと日本が突然技術力が上がったのか
？）

1931年当時

日本の政党

与党 日本新生民主党（新民党）

与党より野党 立憲政友党、立憲民政党、日本民主労働党（民労党）、
立憲養正會、国民同盟党

野党 日本革新民主党、日本革新進歩党、日本国民民政党

ドイツの政党

与党 ドイツ帝国民民主党（帝民党）ドイツ国家社会主義労働者党（ナ
チスよりいい政党）

与党より野党 ドイツ社会民主党、ドイツ国家人民党

野党 ドイツ共産党（禁止されて解党、そして粛清）

ドイツ労働党（唯一認められた社会主義政党）ドイツ民主保守党

北フランスの政党

与党 フランス王国民主党、フランス社会民主党（フランストラ
ヴァイユール党）

与党より野党 フランス加速党（フランス・アバンギャルド党）

野党 フランス保守党、フランス民主党

アメリカの政党

与党 共和党

野党 民主党、アメリカ第一党、アメリカ共産党など

カナダの政党（亡命イギリス政府）

与党 イギリス統一党（保守党と労働党の連合政党）
与党より野党 イギリス救国党

オスマンの政党

与党 オスマン立憲君主党、オスマン立憲保守党
野党 オスマンサンディカリズム党

ハンガリーの政党

与党 ハンガリー帝国立憲党、ハンガリー帝国保守党
与党より野党 ハンガリー労働連合党サンディカリズム
野党 ハンガリー立憲民主党、ハンガリー共和党

中央アジア社会主義共和国連邦の派閥

与党 サンディカリズム派、アナーキズム派
野党 共産主義派、全体社会主義派

フランス国家社会主義の政党

与党 フランス国家社会主義党
野党 いません

地中海共産連邦の派閥

与党 共産主義派、全体社会主義派
野党 アナルコサンディカリズム派

アメリカ社会主義の派閥

与党 トロツキー派
野党 サンディカリズム派

単一国の政党

与党 プロレトクリト党
野党 いません

主要国以外の国

ロシアの政党

与党 ロシア立憲民主党、ロシア国民民主党
野党 ロシア共和人民党（拡大中）

中華合衆国の政党

与党 中国国民党、民主進歩党
野党 中国共産党、中国民主組合連合党

大清帝国の政党

与党 立憲民友党、国民民政党、民主民政党
野党 中国立憲人民党

ブラジルの政党

与党 ブラジル民主連合党、ブラジル組合連合党
野党 ブラジル国家人民党、ブラジル立憲保守党

満洲共和国の政党

与党 満洲国民党、満洲立憲民主党、満洲組合党
野党 満洲帝政復古党

ポルトガルコミューンの派閥

与党 アナルコサンディカリズム派
野党 共産主義派、全体社会主義派

アフリカ連邦（宗主国はカナダ）の政党

与党 連邦保守党、連邦民主党
野党 連邦立憲労働党

モンゴル帝国の政党

与党 モンゴル帝国国民党、モンゴル帝国立憲党
野党 モンゴル社会民主労働党

インド国家社会主義共和国連邦の政党

与党 インド国家社会主義党
野党 いません

ハイデラバード連合国

与党 立憲君主党、連合労働党
野党 連合民主党

ペルシヤ帝国の政党

与党 ペルシヤ帝国立憲党
野党 ペルシヤ立憲保守党

ペルシヤ第二帝国の政党

与党 ペルシヤ帝国統一党
野党 いません。

アフガニスタン王国

与党 アフガニスタン王国国民党
野党 アフガニスタン立憲民主党

オランダ王国

与党 キリスト教歴史同盟
野党 サンデイカリズム民主労働党

ベルギー王国

与党 王国統一民主党
野党 王国サンデイカリズム党

(もつとあるが後はこの世界にあんまり登場しないか、後々で登場すると思うので政党はここまで)

ドイツと日本が何故突然技術力が上がったのか？

何故かと言うと階差機関と解析機関の完成である。

階差機関と解析機関は細かく説明すると意味がわからないので(もつと知りたい人は調べてね!)簡単に言うところコンピューターの初期のやつで有る。コンピューターを使った技術開発はもの凄い速さで進み、新しい技術が軒並み発明されるぐらいの速さである。

あと2つ技術力が上がった理由が「ロシア、アメリカ、フランスなどの不安定な国にいる科学者軒並み安定しているドイツと日本に亡命している」「ドイツと日本が多額の資金を技術開発、科学開発に力を入れてる」といった理由です。

昭和の大改革の内容

「昭和の大改革」

1929年に選挙で勝った日本新生民主党が公約にしていた「もつと政治の改革を！農林水産の改革を！軍の改革を！」3つの合言葉を1930年に改革を執行し、政治、農林水産、軍隊の改革を推し進めた。（教育と官僚、雇用の改革も政権発足時に考えられて、昭和の大改革の一部に入れた）

政治改革

日本の首相は国会の指名で決まれるが、この政治改革でアメリカ合衆国みたいに日本の各政党の首相候補が国民によって投票で決められる「首相公選制」ができる。（この首相投票は日本国民が絶対に決めさせるためこれに関しては全員強制的に投票してもらおう）（緊急時もしくは非常時には天皇陛下が首相を指名する）

政治家は国会議員になるとき軍事訓練を毎日行う（空いた時間）（休憩？何を言ってるのかな？）

政治家が汚職したら即刻死刑（汚物は要りません）

農林水産改革

まず農業に関しては食料自給率が日本本土で100%にできる訳がないので、農業は全部ブランド化を行い、広い土地が使える北海道は日本の食料を作る。（朝鮮半島に関しては農業を推し進めたので食料がどんどん作られる）↑（この結果工業化が遅れる）（地主からちゃんとした額で土地を買い、それを小作農だった人々に安く売ったので自作農は増え、農民からの支持が熱くなる）

林業に関しても3Kなので国が経済的余裕がある林業の会社以外

を全部国有化、「日本林業国有会社」ができる。

水業に関しては政府が高く魚を買い（定時より1.5倍買う）
養殖業の拡大を推し進めた。（ちゃんと補助金をあげる）

産業に関してはまず公害を起こさないようにし、そして効率化、そして機械化などを行い、労働者の負担を軽減させた（これのおかげで労働者からも支持を集める）

軍隊改革

まず帝国国防陸海空軍の下に国内を防衛、災害派遣を任務とする「自衛隊」を作る（帝国国防軍は攻守どちらもできる軍隊のスペシャリスト（ただの薩摩隼人になっただけ）自衛隊は防衛を得意とし、災害時には帝国国防軍より先に出勤し、24時間以内に現地に行く災害派遣部隊（災害が起きたら警察や消防より早く活動するレベル）
そして帝国国防軍を志願兵制にし、自衛隊を徴兵制にする。

徴兵制の中に女性も入ることができるようにする（男性は強制、女性はやる、やらないができる）（女性のほとんどがこの徴兵制をやる）
↑（徴兵されると大学資格が貰えるから）

帝国国防参謀本部↓帝国国防陸海空軍↓陸海空自衛隊

（帝国国防参謀本部がトップ、帝国国防陸海空軍は中間管理職兼薩摩隼人、陸海空自衛隊は下っ端兼災害派遣部隊）

練度に関して

帝国国防参謀本部（頭脳はコンピューター）

帝国国防陸海空軍（薩摩隼人とレンジャー）

陸海空自衛隊（今の日本の普通科並）

教育改革

日本政府は多くの子供をちゃんとした教育のもと全員が高質な教育ができるように教育を改革した。

3歳から幼学校（今の日本に当てはめると一年から二年の教育を3年の間に覚えさせ、簡単な運動や遊びをしまくる）

6歳からは小学校（今の日本に当てはめると三年から六年の教育を4年の間に覚えさせ、平均的な運動や頭を使うゲームなどをする）

10歳からは中学校（今の日本に当てはめると中一から中三の教育を3年の間に覚えさせ、軍隊がやる運動（基本）や軍隊になってみて指示や行動などすごく頭を使うリアル軍事ストラテジーゲームをやるなどする）

13歳からは高校（今の日本に当てはめると高一から高三の教育を3年の間に覚えさせ、本格的な軍事訓練、本格的なリアル軍事ストラテジーゲームなどをやる）

上のように幼3小4中3高3を国民の義務教育とした。

（日本人を薩摩隼人化するだけなのだが？）

大学に関しては16歳から帝国国防大学へ行くか、国立の大学に行くか、私立の大学に行くかで、3つの進路がある。

（帝国国防大学は帝国国防陸海空軍に志願する人はお金は免除）（成績が良かったら国立大学のお金は免除）（私立？自分でどうにかしろ）（ほとんどの人が徴兵されるのは16歳の時に始まる）（4年制の徴兵制）↑（事実上の全国民の大学進学）（大学は4年間に教育して20歳で卒業）（国立や私立へ行った大学生は国立、私立大学にしながら軍事教育する）

(これによって日本国民は国と人々の為に戦ってくれる)

官僚改革

全て官僚は仕事を就く前に帝国国防軍の軍事訓練(1年)を行う(休憩? 知らんな)

汚職したら即刻死刑(汚物は必要ない)

雇用改革

失業した人々に仕事を絶対与える制度「失業者雇用制度」

この失業者雇用制度は政府が与える仕事をやる仕事なので文句は受け付けません。(汚職をしたら処刑ね)

この世界のオランダとベルギーの歴史

オランダの歴史

1914年 第一次世界大戦発生 中立

1919年 第一次世界大戦終戦

1920年 バツキングダム体制が始まった。

1925年 アメリカ恐慌でオランダの経済にヒビが入る

1930年 イギリスのロンドン株式市場が大暴落、オランダの株式市場も暴落し、経済が大変な状況になった。

1931年 経済が崩壊したオランダは、オランダ領インドネシアを日本に売却することを検討、日本にインドネシア売却を持ち込み話し合いをした。

(ドイツからの経済援助もあるが、それが拡大し、オランダはドイツの経済植民地になっていった)

1931年のオランダの国力と諸々の説明

王都 憲法上アムステルダム

事実上デン・ハーグ

国家元首 ウイルヘルミナ

首相 (経済崩壊で内閣は総辞職、ウイルヘルミナ女王が政権運営を行った) (その後経済崩壊を重く見た女王は安定と秩序を敷くために独裁を続けることになった)

政体 立憲君主制(準軍事独裁体制) (もしくは女王親政)

経済状態 不景気（ドイツの経済植民地化）

国民感情 女王陛下万歳

民族 ゲルマン系オランダ人、後は植民地からの移民

宗教 キリスト教、イスラム教が少し

人口 約800万人

常備軍 10万人

限界動員数 50万人

ベルギーの歴史

1914年 第一次世界大戦発生 当時は中立

1916年 フランスがベルギーに侵攻、第一次世界大戦に参戦

1917年 イギリス・ベルギー・ドイツ連合軍がパリに入城

1919年 フランスの臨時首都マルセイユ陥落で終戦

1920年 バッキンガム条約で賠償金をもらい、そしてバッキンガム体制が始まった。

1925年 アメリカ恐慌が発生、経済が危なくなったがイギリスがなんとかしてくれたため経済崩壊は訪れずに済んだ。

1930年 イギリスのロンドン株式市場が大暴落、ベルギーの株式市場も大暴落し、それに続いて経済も崩壊した。（その後財政破綻状態になる）

財政破綻したベルギーはコンゴ植民地をドイツに売却、売却したお金と日本、ドイツからの財政支援でなんとか持ち直そうとする。

(その後ベルギーはドイツに事実上の経済植民地となる)

1931年のベルギーの国力と諸々の説明

王都 ブリュッセル

国家元首 アルベール1世

首相(ここもオランダと同じく、内閣が総辞職し、国王アルベール1世自ら国の運営をしている)↑(このせいで本来国を

運営する首相がいなくなったおかげでアルベール1世がものすごく忙しくなった)↑(この忙しきで旅行といった休日ができなくなり、史実では1934年にナミュールに行つて、その後遭難する筈が、仕事の多さでナミュールに行けなくなった為史実より長生きすることになる)

政体 立憲君主制(国王親政)

経済状態 不景気だがなんやかんや改善中(ドイツ経済植民地化)

国民感情 国王陛下万歳

民族 オランダ系フラマン人、フランス系ワロン人、ドイツ系など

宗教 キリスト教が多数派カトリックとプロテスタント

人口 約750万人

常備軍 10万人

限界動員数 50万人

あと人物紹介

ウイルヘルミナ(3代続くオランダの女王の初め)

謹厳な女王で、史実の第二次世界大戦ではガーター勲章を授与された(外国の女性君主では初めて)

(現在の君主はウイレムIIアレクサンダー)

アルベール1世(異名が「軍人の王」)

史実では1934年に遭難で亡くなるが、内閣総辞職のおかげ(?)

で遭難せずに史実より長生きする。
(現在の君主はフィリップ)

中央アジア社会主義共和国連邦の実態と建国してから7年の歴史

中央アジア社会主義共和国連邦の実態と建国してから7年の歴史

1923年 サンディカリストのジョセフ・ハルマ（日系）（オリジナル）（ロシア人）、アナキストのネストル・マフノ（ウクライナ人）、共産主義者のモーリス・トレーズ（フランス人）、アナルコサンディカリストのジョージ・グラント（オリジナル）（アメリカ人）と世界から左翼が集まってきており、特にこの4人はこの後に建国される中央アジア社会主義共和国連邦の重鎮となる。

ロシア内戦の混乱と同時に「中央アジア社会主義共和国連邦」を建国、独立宣言を行った。

新しくできた国家である中央アジア社会主義共和国連邦の国家元首「人民会長」の初代人民会長はジョセフ・ハルマが就任。

行政長官であり、首相にあたる「行政委員長」にジョージ・グラントが就任。

ネストル・マフノは軍の長官「軍事委員長」に就任した。

モーリス・トレーズは警察の長官「治安委員長」に就任した。

1924年 建国から1年の連邦は体制と治安、人民の幸福に力を入れた。

政治体制は「サンディカリズム」を中心とする社会主義

治安に関しては軍隊と警察を総動員し、治安を改善

給料を頑張りに応じて渡し（ちゃんと高く給料をあげる）

労働も8時間以上超えると残業代をちゃんとあげる法律も作り、

（労働者を酷使したら24時間鉱山に労働してもらおう）（死ぬまで）（仮釈放はこの国にはありません）

人々に安定をもたらした。

1925年 建国から2年、臨時政府は正式に選挙を開始、選挙の結果は穏健派グループ「サンディカリズム民主義派」とこちらは穏健派と過激派のどっちの部類にも入るグループ「アナーキズム」が連立を組んで政権を発足させた。

(選挙は3年に一回で、人民会長は続けてなれるのは4回まで)↑(腐敗を許さない為にこのように憲法で決めた)

1926年 建国から3年、国家は安定してきたが経済的にまだまだ貧しいので外交で(人民はそれでも安定した仕事と治安の改善で人民から国に対しての不満は無くなっていった)

日本と国交樹立し、日本から多くの企業受け入れ、そしてお金を借りたりなどした。(日本は自分の資源調査部隊が見つけた資源は利益を日本7連邦3とする条約を連邦と決めた)

1927年 建国から4年、世界中から移民を受け入れて多民族国家へどんどんなっていっていく

1927年時点の人口は2500万人

1928年 第二回中央アジア社会主義共和国連邦人民会長総選挙

総選挙の結果は初代会長のジョセフ・ハルマが勝利!

これにより二代会長に就任した。

(これによりサンディカリズム、アナーキズムの勢力は拡大し、この国にプロレタリア独裁を行うことを阻止させた)

1929年 財政破綻したアメリカからの移住者(移民)急増
経済崩壊が起きた国からの移民もどんどん増えていった。

1930年 建国から7年、経済状態は良く。国民感情も国家に対

して忠誠が強くなっていった。

中央アジア社会主義共和国連邦の国力と諸々の説明（1931年当時）

首都 アスタナ（計画都市）（日本企業が計画に参入）

人民会長 ジョセフ・ハルマ

行政委員長 ネストル・マフノ

政体 サンデイカリズム民主主義

経済状態 好景気

国民感情 共和国万歳！

民族 多民族（色々とサラダボウルで民族がどれ位いるか不明）

言語 統一言語 ロシア語 国際語 英語

宗教 ロシア正教会 イスラム教 神道（日本の影響）

人口 3000万人

人口の内訳 分からん（不明）

常備軍 20万人

限界動員数 100万人

中央アジア社会主義共和国連邦の議会

中央議会（一院制）

これが主要の派閥

中央アジア社会民主組合党サンデイカリズム

中央アジア自由社会主義党アナーキズム

中央アジア共産党（共産主義）

中央アジア人民社会党（全体社会主義）

これが主要派閥以外の派閥

中央アジア民主進歩党（社会民主主義）

中央アジアキリスト教社会主義党（キリスト教社会主義）

中央アジア社会主義共和国連邦での宗教事情

中央アジア社会主義共和国連邦の宗教には、ロシア正教会、イスラム教、そして日本からやってきた神道がある。

特に神道は金光教が中心にやっており、どんどん信者を増やしている。 (金光教とは現存する戦前の神道十三派の一つ)

1931年7月～8月 アメリカでクーデター発生、
そして第二次アメリカ内戦が発生。

1931年7月7日 この年は日本では七夕祭が行われてる7月7日にアメリカの首都ワシントンDCでクーデターが発生した。アレクサンダー・ヴァンデグリフト率いる、「改革派」は政府を転覆させるためにクーデターを実行

(クーデター理由は悪化する経済状況と現政権に対しての不満を
持ってた為)

アメリカ合衆国第31代大統領ハーバート・フーヴァーが暗殺されたが、ヴァンデグリフトは連邦議会とホワイト・ハウスの占拠に失敗。
(一部のクーデター軍が暴走、計画にない暗殺をしたため失敗した)
ヴァンデグリフト率いる「改革派」を陸軍が制圧し、ヴァンデグリフトは海外に亡命した。

これにより自動的にアメリカ合衆国第32代大統領に副大統領のチャールズ・カーティスが就任した。
(改革派は政府に不満を持つ中道派のグループでこれにより中道派の軍人はほとんど追放、逮捕された)

カーティス大統領はクーデターを起こした軍人を軍法裁判所ではとんどを死刑しようとしたが、これに不満を持つ一部の軍人がカーティス大統領を暗殺。これにより共和党政権は崩壊。

この緊急事態にダグラス・マツカーサーがクーデターを起こし、アメリカ合衆国に軍事政権が発足した。

ダグラス・マツカーサーは最高指導者として臨時大統領に就任。

1931年7月10日 マツカーサー臨時大統領就任にアメリカの民主党、アメリカ第一党、アメリカ共産党、そして共和党が反対し。共和党はカルフォルニア、民主党はコロラド、アメリカ第一党はルイジアナ、アメリカ共産党はイリノイと移動していった。

1931年7月13日 アメリカ第一党はニューオーリンズで「アメリカ連合国」の建国を宣言し、アメリカ共産党はシカゴで「アメリカ労働組合連合」の建国、民主党はデンバーで「アメリカ共和国」の建国、共和党は「西海岸連邦」を建国した。

これによりアメリカ合衆国は崩壊、アメリカ軍事政府、アメリカ連合国、アメリカ労働組合連合、アメリカ共和国、西海岸連邦の五つ巴の内戦に発展した。

1931年7月14日 カナダがアラスカに進駐、領土化した。

1931年7月15日 オランダがオランダ領インドネシアを日本に売却。

1931年7月17日 第二次アメリカ内戦最初の戦闘がリッチモンドで起きた。後に「第一次リッチモンドの戦い」と呼ばれた戦いが始まった。

両国の軍勢

アメリカ軍事政府軍

兵力 10万人（6対2体2）（職業軍人対退役軍人対義勇兵）

戦車 旧式の戦車250両（第一次世界大戦に使われたやつ）

戦闘機 150機

近接航空支援機 20機

戦術爆撃機 30機

アメリカ連合国軍

兵力 18万人（2体2体6）（職業軍人対退役軍人対義勇兵）

戦車 旧式の戦車100両（第一次世界大戦に使われたやつ）

戦闘機 100機

火力があるのはアメリカ軍事政府軍

兵力があるのはアメリカ連合国軍

どっちが勝つかはまだわからない。

(この戦いは何日か続く)

1931年7月19日

フランス義勇軍(フランス国家社会主義共和国軍)

兵力が3万人(全員職業軍人)

戦車が200両(最新)

戦闘機200機(最新)

援軍としてフランス義勇軍が到着、このまま戦闘が劇的に変わるのか、それはわからない。

アメリカ軍事政府

国家元首 ダグラス・マッカーサー臨時大統領

首都 ワシントンDC

政体 軍事独裁主義

アメリカ連合国

国家元首 ヒューイ・ロング総統

首都 ニューオーリンズ

政体 国家社会主義

アメリカ労働組合連合

国家元首 ジョン・リード会長

首都 シカゴ

政体 サンディカリズム

アメリカ共和国

国家元首 フランクリン・ルーズベルト大統領

首都 デンバー

政体 民主主義(独裁主義)

西海岸連邦

国家元首 アール・ウォーレン大統領

首都 ロサンゼルス

政体 民主主義

1931年7月22日 序盤アメリカ軍事政府が優勢だったがフランス義勇軍の機甲師団の到着で、終盤はアメリカ連合国が優勢になり、アメリカ連合国が勝利した。

(第一次リッチモンドの戦いはアメリカ連合国の勝利)

両国の戦死者数

アメリカ軍事政府	3万4000人戦死	30000人負傷
アメリカ連合国	2万3000人戦死	50000人負傷
フランス義勇軍	10000人戦死	20000人負傷

戦車や戦闘機などの損害

アメリカ軍事政府	戦車50両破壊	戦闘機60機破壊
アメリカ連合国	戦車80両破壊	戦闘機80機破壊
フランス義勇軍	戦車5両破壊	戦闘機10機破壊

1931年7月23日 日本とドイツ、亡命したイギリスが第二次アメリカ内戦で両方も別々の国に武器を売却し、そして第二次アメリカ内戦を長期間させることに同意した。

日本は西海岸連邦を支援し、義勇軍派遣(軍事介入)

ドイツはアメリカ軍事政府を支援し、義勇軍派遣

亡命イギリスはアメリカ共和国の反体制派を支援

(両国は戦闘せず、武器支援、敵を攻撃する事に専念する)

1931年7月26日 第二次アメリカ内戦はあちこちで戦闘が起き、多くの血と金が消費されていた。

1931年7月29日 中央アジア社会主義共和国連邦で第三回中央アジア社会主義共和国連邦人民会長総選挙が発生、

総選挙の結果はネストル・マフノが勝利。

ネストル・マフノが第3代人民会長に就任した。

ジョセフ・ハルマは行政委員長に就任した。

(中央アジア社会民主組合党サンディカリズムと中央アジア自由社会主義党アナーキズムの連立は継続)

1931年8月6日 旧アメリカ合衆国の勢力圏(属国)の中華合衆国で独裁者を打倒する運動が発生、この運動で蒋介石は南京から追放され、汪兆銘政権が発足した。(南京国民政府の成立)そして重慶に逃亡した蒋介石は重慶に「重慶国民政府」を樹立させた。

それとともに中華合衆国は崩壊し、内戦になった。

1931年8月9日 大清帝国で共産主義革命を起こそうとした非合法政党「中国共産党」は毛沢東諸共、義和党と言う非合法の国粋主義政治団体によって虐殺された。

そして義和党は暴走し、義和党率いる民兵集団が北京で大規模な反乱を起こし、溥儀がドサクサに紛れ暗殺、大清帝国は崩壊した。

1931年8月10日 大日本帝国政府が人口増加政策に関する法律を施行、この法律は日本の人口を爆発的に増やすことになった(その法律は後ほど違う話で紹介)

それと同時に放送法を施行。(捏造報道した報道メディアは粛清)

1931年8月12日 大清帝国は義和党率いる「中華帝国」、崩壊した大清帝国の残骸が率いる「大清臨時政府」、そして蒙古に進駐した「満洲共和国」、入り乱れる勢力争いが起きていた。(山東半島は現地のドイツ帝国軍が占領)

1931年8月13日 ドイツ帝国が日本にアジアの植民地を売却(山東半島は所有)これにより大日本帝国はアジアの覇権を握った。

1931年8月15日 リッチモンドで「第二次リッチモンドの戦い」が発生した。
両国の軍勢

アメリカ軍事政府

兵力 15万人（7対1対2）（職業軍人对退役軍人对義勇兵）

戦車 旧式150両 新式30両

戦闘機 旧式150機 新式50機

近接航空支援機 30機

戦術爆撃機 50機

ドイツ義勇軍（ドイツ帝国軍）

兵力 2万人（全員職業軍人）

戦車 新式500両

戦闘機 新式300機

近接航空支援機 60機

戦術爆撃機 10機

アメリカ連合軍

兵力 20万人（3対2対5）（職業軍人对退役軍人对義勇兵）

戦車 旧式200両

戦闘機 旧式400機

近接航空支援機 10機

戦術爆撃機 5機

フランス義勇軍（フランス国家社会主義共和国軍）

兵力 4万人（全員職業軍人）

戦車 新式400両

戦闘機 新式100機

近接航空支援機 30機

戦術爆撃機 30機

ドイツはアメリカ軍事政府側、フランスはアメリカ連合国側

この第二次リッチモンドの戦いは壮絶な戦いとなった。

1931年8月16日 大日本帝国政府が大粛清を開始。汚職した政治家（帝国議会の議員、地方の議員諸共）、汚職した官僚（もちろん地方も）、それに関係する企業の解体を開始した。

これにより新生民主党から10人（議員）が粛清、野党も汚職した議員が粛清されて大混乱が起き、立憲政友党と立憲養正會、国民同盟党が統合され「皇国民民主党」が結成された。

それと同時に日本革新民主党と日本革新進歩党が統合され「日本組合民主党」が結成された。（日本サンディカリズム民主主義党の略称）その後癒着した企業を問答無用で解体し、そしてその中に4大財閥の安田、三井、そして住友が癒着した関係が明かされて国民の怒りがその癒着した政治家、企業にむいた。

1931年8月20日 安田財閥、三井財閥、住友財閥が解体され中小企業に富を分配した。（これにより経済を加速させる）
（三菱財閥はあんまり政治家と癒着してない為解体はされなかった）
（してるとしたら兵器などの相談や、国益に関係することをやっている）
るので解体は決定されなかった）

1931年8月26日 第二次リッチモンドの戦いがアメリカ軍事政府側が勝利した。

両国の戦死者数

アメリカ軍事政府	4万人戦死	1万人負傷
ドイツ義勇軍	2000人戦死	3000人負傷
アメリカ連合国	6万人戦死	5000人負傷

フランス義勇軍 8000人戦死 5000人負傷

戦車や戦闘機などの損害

アメリカ軍事政府 戦車100両破壊 戦闘機100機破壊

ドイツ義勇軍 戦車30両 戦闘機20機破壊

アメリカ連合軍 戦車200両破壊 戦闘機300機破壊

フランス義勇軍 戦車60両破壊 戦闘機80機破壊

アメリカ連合軍側は大損害を被る。

この世は混沌、いや混沌よりも最悪で最高な世界へ突き進んでい
た。

日本のテレビ放送とラジオ放送での緊急速報

臨時ニュースお届けします。臨時ニュースをお届けします。
たった今から衝撃な出来事を報告します。

「テキサス州がアメリカ連合国から独立しました。」